

## 25 サクラマス(ヤマメ)

(サケ科)

兵庫県ランク:要調査

*Oncorhynchus masou masou*

環境省ランク:NT

## 種の概要

兵庫県に分布するのはほとんどが全長20 cm程度の陸封型のヤマメで、日本海側河川の上流域に生息する。降海型のサクラマスは全長50 cm程度になる。河川では水生昆虫や水面に落下した陸生昆虫を、海では小魚などを食べる。産卵は秋で、砂礫底に雄が産卵床を掘り、雌とともに産卵放精を行う。サクラマスは孵化後、1年と少し河川に留まり、その後、降海する。海洋生活は1~2年で、生まれた川に遡上する。



写真提供:庄子 恭平

## 県内における生息状況及びその他特記事項

陸封型のヤマメは日本海側の河川に広く分布する。降海型のサクラマスは、岸田川、矢田川、竹野川、円山川から確認記録がある。現在見られるものが在来個体群か、放流に由来するものか不明であり、遺伝的な精査が必要である。

## 保護上の留意点

本種が再生産できる環境を整えるには、親魚の遡上を妨げる堰堤などの河川横断工作物に魚道を設置する必要がある。また、産卵環境として、河川の中・下流域に伏流水の流れる平瀬（砂礫が固まっていない浮き礫状態のもの）が必要である。酸素を含んだ伏流水の存在は、受精卵の孵化率を大きく左右する。このような環境を自然な形でつくるには、土砂流入・流下サイクルの復活と、適度の出水・攪乱による瀬と洲の再配置が求められる。

## 県内分布

豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町

【執筆者】田中 哲夫・庄子 恭平・信本 励

## 主要な選定理由

人為性	激減	△
	環境	○
	捕獲	○
	遺伝	○
特殊性	特殊	
	孤立	
学術性	極限	
	限界	
	希少	

